



ペットボトルのランタンを製作する親子ら  
＝さくらピアで

# 夏休みに親子で防災学ぶ

豊橋で障害者への理解も深め

## ペットボトルのランタン製作

豊橋市障害者福祉会館「サクラピア」で21日、「2019年夏休み親子防災教室」が開かれた。小学生を中心とした子ども26人と保護者ら大人14人が参加し、

防災知識を深めた。夏休みを利用して、親子で地域の障害者理解を深め、防災について考える機会にしてみよう、3年前から実施。防災頭巾や新聞紙を使ったスリッパ作り、視覚障害、聴覚障害についての学習など、年ごとにテーマを決めて学んでいる。今年も、障害のある子を持つ保護者らで構成するサマースクール実行委員会を講師に、ペットボトルを使ったランタン作りを体験。各自が持参したペットボトルにモールやビーズなどの飾りを入れ、口の部分にライトをはめ込んでカラフルに光るランタンを完成させた。暗い部屋で幻想的に輝く手作りランタンに、子どもたちは大喜び。工作後は、非常持ち出し袋には何を入れて準備したら良いかも皆で考えた。

毎年参加しているという、同市立天伯小1年の糟谷千吏くんと母親の綾さんは「ランタン作りは楽しく、暗いところで光った時はきれいだった」「家の各部屋に置いてもいいので、自宅で作りたい」などと話していた。この日は、障害者スポーツの体験もあり、enjoy★ポッチャの鈴木祥子代表を講師に、パラリンピックの正式種目でもある「ポッチャ」に皆で挑戦した。

(田中博子)

令和元年 7月24日(水)

東愛知新聞